

令和4年度 第3回 中部地方整備局事業評価監視委員会 再評価（一括審議）案件一覧

資料4

番号	事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性	事業の投資効率性 上段:前回評価時 下段:現時点		都道府県・政令市 等の意見
1 (資料5)	富士海岸直轄 海岸保全施設 整備事業	静岡県沼津市、 富士市、静岡市	昭和42年度 ～令和13年度	1,112 1,112	・沿岸市町の人口は、直轄 事業開始時から増加傾向 にあり、平成7年をピークに 若干減少しているものの、 大きな変化は見られない。 ・前回評価時から資産、土 地利用に関しても、大きな 変化は見られない。	・前回評価時以降、離岸堤、 養浜工を実施してきた。 ・事業の進捗率は約92%(令和 4年度末)である。 ・事業は令和13年度で完成予 定である。	・今後は侵食対策工・養浜 工・離岸堤を実施していく。	<b>【コスト削減】</b> ・富士山大沢崩れで発生 した流出土砂を砂防施設で 捕捉し、その土砂を養浜材 として利用する等、他事業 との連携によりコスト削減 (年間約8千万円)に努めて いる。 ・今後は、富士川流域の 河川管理者や港湾管理者 とも連携し、さらなるコスト 削減に努める。  <b>【代替案立案】</b> ・技術的難易度、利用面、 漁業に与える影響を勘案す ると現計画が妥当である。	<b>【事業全体】</b> 総便益B:19,789億円 総費用C:3,410億円 B/C=5.8  <b>【事業全体】</b> 総便益B:27,800億円 総費用C:4,583億円 B/C=6.1	<b>【残事業】</b> 総便益B:1,894億円 総費用C:157億円 B/C=12.1  <b>【残事業】</b> 総便益B:3,036億円 総費用C:82億円 B/C=37.2	継続
									・海岸事業の費用便益分析指針改訂に伴い被 害率を変更 ・評価基準年次の変更(H29→R4)に伴い現在 価値化後の費用及び便益が変化 ・資産データおよび資産単価の更新		